

紫一色に・白転車で・キャラ使い浸透

イメージ戦各地満開

12日投開票の県議選で、各陣営がイメージ戦略に力を入れている。組織の結束を強め、有権者に浸透するには、まず見た目が大事。それぞれの思い入れを込めて、PRに工夫を凝らしている。

県議選

2015 統一地方選 統一地方選 統一地方選

南2区・自民現職

南2区(川口市)の自民現職が3日開いた出陣式はイメージカラーの紫色で埋

まった。「紫色を身につけて参加して」という候補者の呼びかけに支持者が応じた。男性は紫のネクタイ、女性は紫のスカートやバッグ、カーディガンで集まった。紫をあしらった模様で爪を飾った女性もいた。「必勝だるま」も赤ではなく、紫色だった。

紫色は候補者の出身校のスクールカラーだったという。「私のラッキーカー



1. 他の候補者と重ならないし、落ち着いた色合いが

好き」と話す。定数7に11人が名乗りを上げた南2区。自民系だけでも4人がたち、乱戦は必至。出陣式では「誰が当選してもおかしくない選挙」などとあいさつする人が続

いた。候補者は「大変だからこそ、楽しく。支持者とともに、紫は必勝の色と確かめ合えるように頑張ります」。

西7区・民主新顔

西7区(川越市)の民主新顔の女性候補は、多くの人でにぎわう市中心部の商店街などを白転車で巡っている。市民に身近に感じてもらえるようにと、ゆっくり走る。

白転車で選挙運動は市議時代から採り入れてきた。色とりどりの風船をつけ、手を振りながら「よろしくお願ひしまーす」と笑顔を振りまく。手応えを直接感じる事ができるといふ。「今回は男性だけでは

出陣式で候補者の演説を聴く支持者たち。紫色の服の人が多く、おそろいの紫色のスカートや首に巻いていた3日、川口市

く、特に女性の反応がいいのが心強いです」

南13区・公明現職

南13区(上尾市、伊奈町)の公明現職の選挙事務所には、オリジナルのマスコット人形が登場した。丸い顔につぶらな瞳。全身オレンジ色で宇宙人の子どものような姿だ。本人の名にちなんで、「ゆっぴー」と名づけた。

ゆるキャラのブームに乗って親しみやすさをアピールしようと、昨春秋、同党上尾総支部婦人部のメンバーがデザインした。事務所に入ってすぐの場所に高さ約80センチの手作りのぬいぐるみを飾り、スタッフらの胸にも手のひら大の人形をつけている。陣営幹部は「支持者のお子さんたちにはかなり浸透しており、PRに役立っている」。(伊藤典俊、西堀岳路、川崎卓哉)

埼玉